

令和6年度宇治市の家計簿

普通会計の歳入・歳出決算額を1/10,000にして、一般家庭に例えると…

前年度からの
増減

具体的には…

○収入

| | | |
|----------------|---------------|--------------------|
| 給与などの収入 | 596万円 (+23万円) | 市税、譲与税、交付金、使用料など |
| 親からの仕送り | 108万円 (+6万円) | 地方交付税 |
| ローン（家・車の購入のため） | 47万円 (+17万円) | 道路・河川の整備、学校改修などの資金 |
| ローン（生活資金のため） | 2万円 (-2万円) | 臨時財政対策債 |
| 預貯金の引き出し | 5万円 (+1万円) | 基金繰入金 |
| 繰越金 | 14万円 (+1万円) | 繰越金 |



収入合計 772万円 (+46万円)

令和6年度の家計は…

昨年度と比べて、給与収入や親からの仕送り、ローン収入が増え、収入合計は増えました。しかし、生活費や子どもの教育費、家・車の購入の支出が増えたため、収入合計と支出合計の差し引きは昨年度より小さくなりました。今後も生活費は増えることが見込まれているほか、家・車についても老朽化が進んでおり、修繕や改修などに伴う支出も増える見込みです。

このように、厳しい状況が続くことが見込まれていることから、生活費の抑制はもちろんのこと、他の支出についても無駄がないか徹底的に見直し、ローンの借り入れに無理がないのか、預貯金の残高にも気を配りながら、家計の安定に向けて、引き続き努力や工夫が必要です。

なお、家・車の購入のためのローン借り入れの増加により、ローン残高は増加したものの、預貯金残高は、昨年度と同額となりました。今後も将来の支出に備えて、預貯金の積み立てを行っていくことが必要です。

前年度からの
増減

具体的には…

○支出

| | | |
|-----------|---------------|---------------------|
| 生活費など | 336万円 (+16万円) | 人件費、扶助費、維持補修費など |
| 子どもの教育費など | 184万円 (+11万円) | 教育費、民生費のうち児童福祉費 |
| 保険料・下水道費用 | 93万円 (+2万円) | 国保特会、公共下水道事業などへの繰出金 |
| 家・車の購入 | 82万円 (+24万円) | 道路・河川の整備、学校改修費用など |
| 貸付金など | 18万円 (±0万円) | 貸し付け事業の費用 |
| 預貯金の積み立て | 5万円 (-2万円) | 基金への積立金 |
| ローンの返済 | 43万円 (-2万円) | 公債費 |
| 支出合計 | 761万円 (+49万円) | |
| 差し引き | 11万円 (-3万円) | |



| | | |
|-------|--------------|----------|
| ローン残高 | 387万円 (+7万円) | 年度末の市債残高 |
| 預貯金残高 | 119万円 (±0万円) | 年度末の基金残高 |

(市民一人あたりローン及び預貯金残高の推移) (単位：円)

| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|-------|---------|---------|---------|
| ローン残高 | 214,155 | 210,228 | 215,765 |
| 預貯金残高 | 63,338 | 65,813 | 66,347 |

